

2026/04/17 (予定) 機能追加

伝票の登録や承認と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票したい 他 36 件

Ver.260331

業務連携

勘定奉行

伝票の登録や承認と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票したい

『勘定奉行クラウド』の[業務連携入力]メニューで仕訳伝票を確認して起票する手順を、省略できるようになりました。

これにより、債権伝票・入金伝票・相殺伝票の登録と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票できます。伝票の承認機能を使用している場合は、承認と同時に仕訳伝票が起票されます。

仕訳伝票を確認して起票する手順を省略するには、『勘定奉行クラウド』の[業務連携入力]メニューで対象データを選択し、 (設定) をクリックまたは[F3:設定]を押し、[基本]ページの「仕訳伝票の起票」設定を「〇〇仕訳の計上と同時に起票する」にします。

なお、ダッシュボードや[\[〇〇仕訳連携\]メニュー](#)から仕訳連携をしている場合は、仕訳伝票を確認して起票する手順だけを省略することもできます。

設定ごとの流れについては、目的から探す[「仕訳伝票を起票するまでの流れ」](#)をご参照ください。

対応メニュー

『勘定奉行クラウド』の[財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力]メニュー

ダッシュボード「本日までの仕訳未作成」カードの各伝票

[債権管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 売上債権仕訳連携]メニュー

[債権管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 入金仕訳連携]メニュー

[債権管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 相殺仕訳連携]メニュー (『債務奉行クラウド』をご利用の場合)

仕訳伝票作成で連携不要なマスター情報の削除に対応

『勘定奉行Smart/勘定奉行11』との連携で、連携不要になった未使用の補助科目などのマスター情報を削除できるようになりました。

対応メニュー

[債権管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票コード設定]メニュー

オリジナルフォーム

フォント・フォントサイズの初期値を設定したい

フォームの編集画面の[フォーム設定]ボタンをクリックし、[フォーム設定]画面の[初期値]ページで、フォント(フォント・サイズ・色)・線の書式(色・太さ・塗りつぶし)の初期値を設定できるようになりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の (設定) から[オリジナルフォーム]メニュー

値引内訳 1～5 段目・消費税率合計 1～6 段目について、明細行の高さを個別に設定できるようになりました。値引内訳や消費税内訳のフォントサイズを売上明細よりも小さくする場合などに、行の高さを調整できます。

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [オリジナルフォーム - 納品書フォーム] メニュー

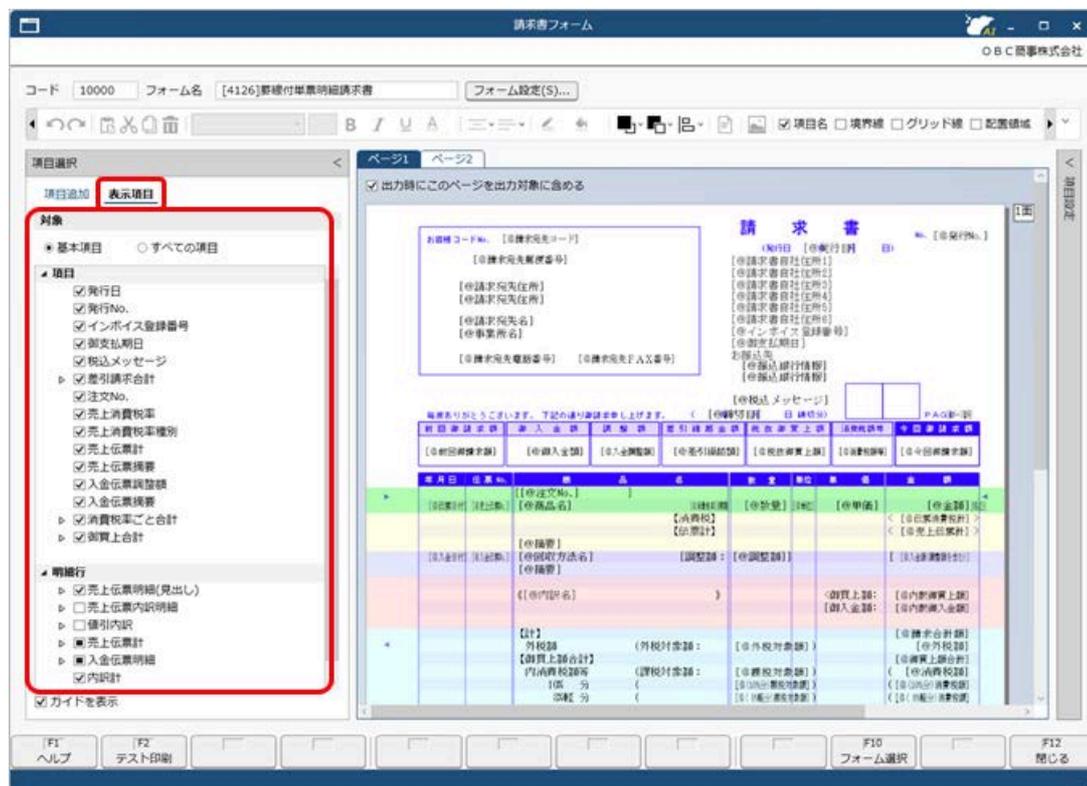
請求書フォームで、出力する項目を簡単に設定したい

Sシステム

奉行V ERP

発行請求書DX

フォームの編集画面の左側にある [表示項目] ページに、基本的な項目だけが表示されるようになりました。設定したい項目をスムーズに見つけ、項目のチェックを付け外しすることで、フォーム上のイメージを確認しながら出力する/しないを切り替えられます。



- 対象で「すべての項目」を選択し、すべての項目を表示することもできます。
- この変更に伴い、[\[オリジナルフォーム\] メニュー](#)のすべてのメニューで、フォームの編集画面のページ名が以下のとおり変更されました。
変更前 [配置済み項目] ページ 変更後 [表示項目] ページ

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [オリジナルフォーム - 請求書フォーム] メニュー

得意先元帳フォームで、余白は罫線なしにしたい

得意先元帳フォームに以下のテンプレートが追加されました。

このテンプレートで作成したフォームで印刷することで、最終明細行で罫線の印字を止め、余白は罫線なしにできます。

- 単票元帳 A 4 罫線付 (最終明細まで)
- 単票元帳 A 4 罫線付 (伝票単位用、最終明細まで)

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から以下のメニュー

- [オリジナルフォーム - 得意先元帳フォーム] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)
- [オリジナルフォーム - 請求先元帳フォーム] メニュー

『勘定奉行クラウド』の科目を複写する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』に登録されている科目を複写し、当サービスに登録できるようになりました。『勘定奉行クラウド』で科目を追加した場合に便利な機能です。

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 債権管理科目〕メニュー

『勘定奉行クラウド』から複写したマスターの仕訳コードを自動で登録する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』のマスターを複写して当サービスに登録した際に、仕訳コードが自動で登録されるようになりました。

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 債権管理科目〕メニュー

〔法人情報 - 規程 - 債権管理補助科目〕メニュー

〔法人情報 - 部門 - 部門〕メニュー

〔法人情報 - プロジェクト - プロジェクト〕メニュー

〔法人情報 - プロジェクト - 工程/工種〕メニュー

〔取引先管理 - 請求先 - 請求先〕メニュー / 〔取引先管理 - 得意先 - 得意先〕メニュー

マスターを「無効」扱いにしたい

各マスターに有効期間を追加しました。

伝票日付が有効期間外のマスターは、伝票への入力できません。また、伝票の検索画面にも表示されません。

なお、管理資料では、有効期間が集計期間と重複していない場合でも、繰越残数がある、または集計期間内に伝票が登録されているマスターは集計対象となります。

対応メニュー

〔法人情報 - 部門 - 部門〕メニュー

〔法人情報 - プロジェクト - プロジェクト〕メニュー

〔法人情報 - プロジェクト - 工程/工種〕メニュー

〔法人情報 - 担当者 - 担当者〕メニュー

〔取引先管理 - 請求先 - 請求先〕メニュー / 〔取引先管理 - 得意先 - 得意先〕メニュー

〔取引先管理 - 直送先 - 直送先〕メニュー

〔商品管理 - 商品 - 商品〕メニュー

『奉行クラウド』のサービスごとに管理している部門やプロジェクトを一元管理したい

奉行V ERP

新たに、「部門」「プロジェクト」「工程/工種」を、『勘定奉行V ERPクラウド』『債権奉行V ERPクラウド』『債務奉行V ERPクラウド』などで統合して一元管理できるようになりました。

外部サービスも統合マスターとして管理できるようになります。

統合マスター管理の詳細は、目的から探す「[統合マスター管理とは](#)」をご参照ください。

「部門」については、『総務人事奉行クラウド』をご利用の場合、『総務人事奉行クラウド』の部門を基準に統合することもできます。

詳細は、目的から探す「『総務人事奉行クラウド』の部門を基準に統合する」をご参照ください。

追加メニュー

メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [部門 - 統合部門] メニュー

メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [部門 - 外部マスター管理[部門]] メニュー

メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [プロジェクト - 統合プロジェクト] メニュー

メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [プロジェクト - 外部マスター管理[プロジェクト]] メニュー

メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [工程 - 統合工程] メニュー

メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [工程 - 外部マスター管理[工程]] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[法人情報 - 部門 - 部門] メニュー

[法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー

[法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー

メインメニュー右上の (統合マスター管理) から [統合マスター設定] メニュー

伝票の摘要の初期値を、代入項目を使って設定できるようにしたい

[伝票摘要設定] メニューが追加され、伝票や入金情報の摘要や、電子記録債権などの備考の初期値をまとめて設定できるようになりました。

代入項目を使って、伝票や電子記録債権、請求先などの情報を摘要・備考に自動でセットできます。

摘要の初期値を設定することで、伝票などで毎回摘要を手入力する手間が省けます。

詳細は、メニューから探す「伝票摘要設定」をご参照ください。

追加メニュー

[法人情報 - 摘要 - 伝票摘要設定] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上傳票] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[債権管理 - 請求処理 - 債権伝票] メニュー

[債権管理 - 発行請求書 - 請求伝票] メニュー (『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』をご利用の場合)

[債権管理 - ネットィング - 相殺伝票] メニュー (『債務奉行クラウド』をご利用の場合)

[債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 電子記録債権] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - ファクタリング債権] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 受取手形] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 期日入金] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報] メニュー

[債権管理 - 入金処理 - 入金伝票] メニュー

上記の伝票が登録されるすべてのメニュー

取引先管理

【ファクタリング会社】メニュー／【クレジット会社】メニューが独立

[「請求先/得意先」メニュー](#)でファクタリング会社およびクレジット会社を登録していましたが、ファクタリング会社およびクレジット会社を登録するための【ファクタリング会社】メニュー／【クレジット会社】メニューを新たに追加しました。

なお、これまで通り[「請求先/得意先」メニュー](#)・[「請求先/得意先データ受入」メニュー](#)からも、ファクタリング会社／クレジット会社を登録できます。

追加メニュー

[取引先管理 - 得意先 - ファクタリング会社] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[取引先管理 - 得意先 - クレジット会社] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

価格管理

【価格計算式】メニューが独立

Sシステム

奉行V ERP

[【価格】メニュー](#)の[条件設定]画面で設定していた価格計算式が、メニューとして独立しました。

追加メニュー

[価格管理 - 取引単価 - 価格計算式[販売]]メニュー

[価格管理 - 取引単価 - 価格計算式[仕入]]メニュー（『商奉行クラウド』および『蔵奉行クラウド』を『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』でご利用の場合）

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

販売管理

摘要明細だけの売上傳票を登録したい

Sシステム

奉行V ERP

売上区分が「4：摘要」の明細だけで、売上傳票を登録できるようになりました。

登録した伝票は、請求書への出力や、売上明細表・得意先元帳などでの確認ができます。

対応メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上傳票]メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上明細表]メニュー

[販売管理 - 管理帳票 - 得意先元帳]メニュー

[販売管理 - 電子帳簿保存 - 売上傳票履歴]メニュー

帳票に雑売・雑費・運賃を集計したい

『商奉行クラウド』の売上集計表などの帳票で、[条件設定]画面の[出力]ページにある出力項目から「雑売額」「雑費額」「運賃額」を選択して出力できるようになりました。「雑売額」「雑費額」「運賃額」には、売上区分「9：雑売」および、今回追加された売上区分「91：雑費」「92：運賃」で登録した金額が集計されます。

また、総売上高や純売上高／売上原価について、売上区分「9：雑売」「91：雑費」「92：運賃」の金額を含めるかどうかを選択できます。

なお、売上区分「9：雑売」「91：雑費」「92：運賃」の名称は、[\[運用設定\]メニュー](#)の[基本]ページの売上調整で変更できます。「雑売」を集計する場合は、売上調整1名称を「その他」から「雑売」に変更します。

対応メニュー

[法人情報 - 規程 - 販売処理区分]メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上傳票]メニュー

メインメニュー右上の（設定）から[運用設定]メニュー

一括でリレーする際にリレー元の伝票を一覧で確認したい

Sシステム

奉行V ERP

一括でリレーする際に、リレー元の伝票を一覧で確認できるようになりました。

また、画面右上の（左右分割）や（上下分割）をクリックすることで、画面の表示を上下分割表示と左右分割表示で切り替えられるようになりました。

対応メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上傳票]メニュー

債権管理

回収予定額が 0 の場合でも、回収予定を確定したい

当月の売上がなく回収予定額が 0 の場合でも、請求締めをすることで回収予定を確定できるようになりました。

当月の回収予定を確定することで、[\[回収予定表\]メニュー](#)で「最新の回収予定にまとめる」にチェックを付けて集計する際に、前月までの未回収額を当月の回収予定額として集計できます。

例

未締め、翌20日払いの請求先

請求期間	売上	回収予定
4/1 ~ 4/30	10,000 円	5/20 10,000 円
5/1 ~ 5/31	なし	6/20 0 円

4月の請求分が未回収の場合

5月の回収予定を確定するかによって、[\[回収予定表\]メニュー](#)で「最新の回収予定にまとめる」にチェックを付けて集計した際の回収予定日の表示が変わります。

- 確定しない場合 **5/20** 10,000 円 として集計されます。
- 確定した場合 **6/20** 10,000 円 として集計されます。

回収予定額が 0 の場合でも回収予定を確定する場合は、[請求締め - 条件設定] 画面の [詳細] ページで、「請求期間内に売上明細がない請求宛先の回収予定」を「確定する」に設定して請求締めをします。

対応メニュー

[債権管理 - 請求処理 - 請求締め] メニュー

伝票や明細表で、請求締めなどの処理状況を確認したい

請求締めなどの伝票の処理状況が、[\[債権伝票\]メニュー](#)や[\[債権明細表\]メニュー](#)などにアイコンで表示されるようになりました。

また、[\[債権明細表\]メニュー](#)などの帳票では、未処理・処理中の伝票件数を確認し、次の処理をするメニューへ直接ジャンプすることもできます。

処理状況を一覧で確認できるため、処理が必要な伝票を見つけやすくなり、次の処理をスムーズに始められるようになりました。

- 債権伝票・入金伝票・売上伝票

伝票の締めが済んでいる場合に、「締め済」アイコンが伝票の上部に表示されるようになりました。

また、「転記済」・「回収済」アイコンが、売上伝票にも表示されます。

行	債権取引	債権内容	債権科目	債権額	債権摘要	売上先	売上科目	売上額	売上税
1	売上	静岡支店	売掛金	932,800		株式会社千	売上高	848,000	
2	売上					静岡支店	10%	84,800	

- 債権明細表・入金一覧表・売上明細表

「転記状況」・「請求締め状況」項目を表示できるようになりました。

また、「回収状況」項目が、売上明細表にも表示できます。



1. 「○○状況」項目には、処理状況を示すアイコンが表示されます。
各項目は、[条件設定]画面の[出力]ページの出力項目で追加します。
「転記状況」に表示されるアイコンについては、目的別記事「[仕訳伝票の転記状況（連携・作成の状況）を確認する](#)」をご参照ください。
2. 画面上の「○○状況」項目に応じて、未処理や処理中の件数が表示されます。
件数をクリックすると、次の処理をするメニューへジャンプできます。
3. [F6：伝票]をクリックすると、処理済の伝票を確認できるメニューが一覧で表示されますので、確認したい伝票のメニューへジャンプできます。
4. 項目の絞り込みやソートができます。

対応メニュー

- [販売管理 - 売上処理 - 売上傳票] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
- [販売管理 - 売上処理 - 売上明細表] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
- [債権管理 - 請求処理 - 債権伝票] メニュー
- [債権管理 - 請求処理 - 債権明細表] メニュー
- [債権管理 - 入金処理 - 入金伝票] メニュー
- [債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表] メニュー

メインメニュー右上の （データメンテナンス）から [汎用データ作成] メニューの以下のメニュー

- [販売管理 - 売上傳票データ作成] メニュー
- [債権管理 - 債権伝票データ作成] メニュー
- [債権管理 - 入金伝票データ作成] メニュー

請求書の仮発行で一度に 100 件以上発行したい

Sシステム

奉行V ERP

一度に 5,000 件まで仮発行できるようになりました。

対応メニュー

- [債権管理 - 請求処理 - 請求書] メニュー

親子請求の請求書で、内訳の出力順を得意先コード順にしたい

Sシステム

奉行V ERP

発行請求書DX

[請求書 - 条件設定]画面の[出力順]ページで、「内訳の出力順」を設定できるようになりました。

追加項目	選択肢
内訳の出力順	<ul style="list-style-type: none"> 請求宛先を優先して並べる 請求宛先（親）を先頭に出力します。（今までどおりの出力順） 得意先コード順で並べる 親と子に関わらず、得意先コード順に出力します。

対応メニュー

- [債権管理 - 請求処理 - 請求書] メニュー

【回収予定変更】メニューで、伝票単位で回収予定を表示したい

【回収予定変更 - 条件設定】画面の【基本】ページで、回収予定の表示単位を「回収予定」「債権伝票」から選択できるようになりました。

表示単位が「債権伝票」の場合は、以下も可能となり、伝票単位での回収予定の確認・変更がスムーズに行えます。

- 債権日付・請求日付・伝票No.など、債権伝票の項目での絞り込み（【回収予定変更 - 条件設定】画面の【基本】ページで設定）
- 債権日付・請求日付・伝票No.など、債権伝票の項目の出力（【回収予定変更 - 条件設定】画面の【項目選択】ページで設定）
- 債権日付・請求日付・伝票No.での並べ替え（【回収予定変更 - 条件設定】画面の【出力順】ページで設定）

対応メニュー

【債権管理 - 請求処理 - 回収予定変更】メニュー

【銀行入金明細】メニューで前受金・仮受金・非連結の入金情報を登録可能

【銀行入金明細】メニューで入金区分を「0：指定なし」「1：前受金」「2：仮受金」「3：非連結」から選択して入金情報を登録できるようになりました。

前受金・仮受金・非連結として計上する場合に、別途【入金情報】メニューなどで入金区分を指定する手順が不要になります。

入金区分を指定する場合は、【銀行入金明細 - 条件設定】画面の【項目選択】ページで「入金区分」「回収方法」を選択します。入金区分が「1：前受金」「2：仮受金」「3：非連結」の場合は、【F6：入金伝票】を押すと入金伝票の内容を確認・修正できます。

【銀行入金明細 - 条件設定】画面の【項目選択】ページに追加された項目

入力項目	ステータス・入金区分・回収方法・メモ・振込手数料
出力項目	請求No.・発行No.・請求開始日・請求終了日・今回請求額

対応メニュー

【債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 銀行入金明細】メニュー

【電子記録債権】メニュー・【ファクタリング債権】メニュー・【受取手形】メニュー・【期日入金】メニューで前受金・仮受金・非連結の入金情報を登録可能

Sシステム

奉行V ERP

入金消込をする運用の場合（入金作成形式が「入金情報」の場合）に、【電子記録債権】メニュー・【ファクタリング債権】メニュー・【受取手形】メニュー・【期日入金】メニューで入金区分を「0：指定なし」「1：前受金」「2：仮受金」「3：非連結」から選択して入金情報を登録できるようになりました。

前受金・仮受金・非連結として計上する場合に、別途【入金情報】メニューで入金区分を指定する手順が不要になります。

入金区分を指定する場合は、各メニューでデータ入力時に【F6：入金情報】を押します。入金区分が「1：前受金」「2：仮受金」「3：非連結」の場合は、入金伝票の内容も確認・修正できます。

この変更に伴い、登録済みの電子記録債権・ファクタリング債権・受取手形・期日入金を複写した際の入金区分も変更されました。

変更前 「0：指定なし」 変更後 複写元の入金区分

対応メニュー

【債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 電子記録債権】メニュー

【債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - ファクタリング債権】メニュー

【債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 受取手形】メニュー

【債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 期日入金】メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から【汎用データ受入】メニューの「債権管理」の各メニュー

【期日債権てん未決済】メニューを追加

【期日債権てん未決済】メニューで、電子記録債権・ファクタリング債権・受取手形・期日入金のてん未を一括で「決済」に変更できるようになりました。

今までどおり、[「電子記録債権」メニュー](#)・[「ファクタリング債権」メニュー](#)・[「受取手形」メニュー](#)・[「期日入金」メニュー](#)で変更することもできます。

追加メニュー

〔債権管理 - 入金処理 - 期日債権てん未決済〕メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

請求先元帳で出力する請求先が「すべて」の場合でも、締日区分で絞り込みをしたい

〔請求先元帳 - 条件設定〕画面の〔基本〕ページで請求締日コードを指定した場合は、〔詳細〕ページの「出力する請求先」が「すべて」になっていても、[「請求先」メニュー](#)／[「得意先」メニュー](#)の〔請求〕ページの請求締日で絞り込みできるようにになりました。

対応メニュー

〔販売管理 - 管理帳票 - 得意先元帳〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔債権管理 - 管理帳票 - 請求先元帳〕メニュー

「債権エイジングレポート」メニューで、前受金額を考慮しない債権残高を確認したい

[「債権エイジングレポート」メニュー](#)で、前受金を債権残高から減らすタイミングを設定できるようになりました。

今までは、前受金が発生したタイミングで債権残高から前受金額分が減っていましたが、前受金が充当されたタイミングで前受金額分を減らすこともできるようになりました。

これにより、前受金を考慮しない債権残高も確認できるようになり、より運用に合わせた残高管理ができるようになります。

確認するには、〔債権エイジングレポート - 条件設定〕画面の〔基本〕ページで、前受金集計基準を充當時に設定します。

対応メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 債権エイジングレポート〕メニュー

「入金集計表」メニューに、回収種別ごとの回収額を確認できる出力項目を追加

[「入金集計表」メニュー](#)に、「回収額（銀行振込）」「回収額（電子記録債権）」などの項目が追加され、「総回収額」を各回収種別ごとに確認できるようになりました。

確認するには、〔入金集計表 - 条件設定〕画面の〔出力〕ページの出力項目で「回収額（〇〇）」項目を選択します。

対応メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表〕メニュー

帳票に削除済みマスターを集計したくない

〔条件設定〕画面の〔基本〕ページで、「金額が 0 の削除済みマスターを除いて集計する」にチェックを付けます。

対応メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 債権残高一覧表〕メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 債権エイジングレポート〕メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 前受金残高一覧表〕メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 仮受金残高一覧表〕メニュー

汎用データ作成

「汎用データ作成」メニューの条件設定をパターンとして登録したい

〔データ作成条件設定〕画面の〔パターン作成〕ボタンをクリックすると、作成条件をパターンとして登録でき、次回以降も同じ条件で作成できます。

対応メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から以下のメニュー

[汎用データ作成 - 取引先管理 - 直送先データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 取引先管理 - 取引先グループデータ作成] メニュー

[汎用データ作成 - 商品管理 - 発行コードデータ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 商品管理 - 債権連携データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 価格管理 - 取引単価データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 価格管理 - 仕切り率データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 価格管理 - 算出価格データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 価格管理 - 統一伝票価格表データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 価格管理 - 統一伝票規格データ作成] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ作成 - 債権管理 - 入金情報データ作成] メニュー

汎用データ受入

『商奉行Smart/商奉行11』の得意先データの受け入れで回収方法を受け入れたい

Sシステム

奉行V ERP

発行請求書DX

回収種別と会社銀行(銀行振込・手形・信託債権・電子記録債権の場合)をもとに判断し、回収方法がセットされるようになりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から [汎用データ受入 - 取引先管理 - 請求先データ受入] メニュー / [汎用データ受入 - 取引先管理 - 得意先データ受入] メニュー

売上傳票データ・債権伝票データの回収予定を受け入れる際に、回収方法や回収予定日だけを指定して受け入れたい

今までは、回収予定を受け入れる際は、回収方法・回収予定日・回収予定額の3つが必須でしたが、[\[請求先\]メニュー / \[得意先\]メニュー](#)の[請求]ページで回収サイト1が設定されていれば、回収方法・回収予定日のいずれかだけで受け入れできるようになりました。

- [\[請求先\]メニュー / \[得意先\]メニュー](#)で回収サイト2・回収サイト3が設定されている場合(回収サイトを分割する設定の場合)は受け入れできません。(金額による条件分岐には対応しています。)
- [\[請求先\]メニュー / \[得意先\]メニュー](#)の回収サイト1が未設定の場合は、回収方法・回収予定日が必須です。回収予定額の指定は不要になりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から以下のメニュー

[汎用データ受入 - 販売管理 - 売上傳票データ受入] メニュー (『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合)

[汎用データ受入 - 債権管理 - 債権伝票データ受入] メニュー

Peppol配信フォームを作成したい

配信先の形式にあわせて、Peppol配信フォームを作成できるようになりました。作成した配信フォームは、取引先に関連付けることで利用できます。

[\[請求書\]メニュー](#)では、配信するPeppol配信フォームを確認できるようになりました。

作成方法は、目的から探す「Peppol配信フォームを作成する」をご参照ください。

追加メニュー

[取引先管理 - 発行請求書設定 - Peppol配信フォーム] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[取引先管理 - 得意先 - 得意先] メニュー

[債権管理 - 請求処理 - 発行請求書 - 請求書] メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から [汎用データ受入 - 取引先管理 - 得意先データ受入] メニュー

『奉行Smart/奉行11』からの請求書の受け入れで、摘要明細に日付とNo.がセットされるように変更

『奉行Smart/奉行11』から請求書を受け入れる際に、摘要明細に日付とNo.がセットされるようになりました。

受け入れ後に請求書を出力すると、摘要明細を含む請求伝票で、『奉行Smart/奉行11』と同じ形式で摘要が出力されます。

請求書		No.			
お客番号: 0002		発行日: 2023年 3月 17日			
220-0023					
神奈川県横浜市西区平沼					
株式会社手塚電業					
横浜支店 様					
明細金額: 金額は税別金額です。					
毎頁表示が15になります。下記の通り検索を申し上げます。(10頁 31日 検索)	PAGE				
前請求書合計	請求書合計	請求書合計	請求書合計		
4,025,000	0	4,025,000	64,000		
			6,400		
			4,105,000		
品目	仕入先	品名	数量	単価	金額
10 1	001431	プリントシヤフ (ロットン製材)	10 枚	2,000	20,000
10 1	001431	アンダーシヤフ (調漆材)	10 枚	800	8,000
		【印刷計】			28,000
10 2	001432	/102分			
10 2	001432	プリントシヤフ (ロットン製材)	10 枚	3,500	35,000
		【印刷計】			35,000
		【計】			64,000
		外税額 (外税対象額: 84,000)			6,400
		【印刷上計合計】			70,400
		印刷費税額等 (課税対象額: 84,000)			6,400
		10% 分			6,400
		【納入金額合計】			0
		印刷費上計			64,000
		印刷・送料			0
		印刷費上計			64,000

また、[\[請求伝票\]メニュー](#)の摘要明細行で、日付とNo.を入力できるようになりました。請求書に、入力した日付で摘要明細行を出力できます。日付を空欄のまま登録することも、いままでどおり可能です。

対応メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から [汎用データ受入 - 債権管理 - 請求伝票データ受入] メニュー

[債権管理 - 発行請求書 - 請求伝票] メニュー

その他

メニュー構成・メニュー名を変更

配信設定・Web請求書等サービス連携設定

変更前	変更後
[法人情報] - [規程] - [配信設定]	[法人情報] - [規程] - [配信設定] メニュー

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> - [配信設定] メニュー - [Web請求書等サービス連携設定] メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> [取引先管理] <ul style="list-style-type: none"> - [発行請求書設定] <ul style="list-style-type: none"> - [Web請求書等サービス連携設定] メニュー

単価・仕切り率・価格

Sシステム

奉行V ERP

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> [商品管理] <ul style="list-style-type: none"> - [価格] <ul style="list-style-type: none"> - [単価] メニュー - [仕切り率] メニュー - [価格] メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> [価格管理] <ul style="list-style-type: none"> - [取引単価] <ul style="list-style-type: none"> - [取引単価] メニュー - [仕切り率] メニュー - [算出価格] メニュー

統一伝票価格表・統一伝票規格

Sシステム

奉行V ERP

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> [商品管理] <ul style="list-style-type: none"> - [統一伝票] <ul style="list-style-type: none"> - [統一伝票価格表] メニュー - [統一伝票規格] メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> [価格管理] <ul style="list-style-type: none"> - [統一伝票] <ul style="list-style-type: none"> - [統一伝票価格表] メニュー - [統一伝票規格] メニュー

〇〇伝票履歴

変更前	変更後
<p style="text-align: right;">Sシステム 奉行V ERP</p> <ul style="list-style-type: none"> [販売管理] <ul style="list-style-type: none"> - [管理帳票] <ul style="list-style-type: none"> - [売上伝票履歴] メニュー 	<p style="text-align: right;">Sシステム 奉行V ERP</p> <ul style="list-style-type: none"> [販売管理] <ul style="list-style-type: none"> - [電子帳簿保存] <ul style="list-style-type: none"> - [売上伝票履歴] メニュー
<ul style="list-style-type: none"> [債権管理] <ul style="list-style-type: none"> - [管理帳票] <ul style="list-style-type: none"> - [債権伝票履歴] メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> [債権管理] <ul style="list-style-type: none"> - [電子帳簿保存] <ul style="list-style-type: none"> - [債権伝票履歴] メニュー
<ul style="list-style-type: none"> [債権管理] <ul style="list-style-type: none"> - [管理帳票] <ul style="list-style-type: none"> - [入金伝票履歴] メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> [債権管理] <ul style="list-style-type: none"> - [電子帳簿保存] <ul style="list-style-type: none"> - [入金伝票履歴] メニュー

請求伝票・請求書・任意ファイル・帳票配信・お知らせ

発行請求書

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> [債権管理] <ul style="list-style-type: none"> - [請求処理] <ul style="list-style-type: none"> - [発行請求書] <ul style="list-style-type: none"> - [請求伝票] メニュー - [請求書] メニュー - [任意ファイル] メニュー - [帳票配信] メニュー - [お知らせ] メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> [債権管理] <ul style="list-style-type: none"> - [発行請求書] <ul style="list-style-type: none"> - [請求伝票] メニュー - [請求書] メニュー - [任意ファイル] メニュー - [帳票配信] メニュー - [お知らせ] メニュー

メニューを選択する際の視認性と操作性を向上

メインメニューで第1階層を選択したときの、第2階層のメニューの展開方向が変わりました。

第2階層が右側に表示されるようになり、第2階層を見ながら第1階層のメニューを選択できるようになりました。

なお、サービス起動後初回は、第1階層のメニューを選択すると前回最後に起動していたメニューまで展開され、作業していたメニューをスムーズに起動できるようになりました。

変更前

変更後



(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

文字と背景色のコントラスト比とフォーカス表現を調整

視認性向上のため、文字と背景色のコントラスト比を調整しました。また、フォーカス表現を破線から実線に変更しました。

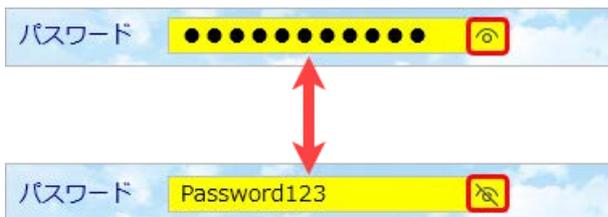


(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

パスワード可視化機能とCapsLock判定機能を追加

パスワードを入力できるすべての画面に、一律、以下の機能を追加しました。

- パスワードを表示できるようになりました。
目のアイコンをクリックすると、パスワードの表示/非表示を切り替えられます。



- [CapsLock] キーがオンになっていることに気づけるよう、『管理ポータル』などのWebアプリでも、メッセージが表示されるようになりました。



内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。